

《四国 高知～松山の旅を終えて》

旅の初日からハプニングが続き、歩く予定を大幅にショート・カット、テント一式を自宅に返送、左足小指が化膿し、医師から歩くのは無理と断言されショックを受けました。20年前の旅で、年末年始の宿屋は休みの為、青森県むつ市～尻屋崎まで往復56kmを歩き、時々走った頃と比較すると一番遅く、まるで“牛歩の歩み”でした。176kmの大幅なカットは、心残りでした。しかし今回は遅いウォークが却って、様々な人達と出会い、助けられ教えられることが多く、寒中見舞いを贈ると、後で便りやらメール・電話等戴き、予想以上の反響があり、ちょっと驚いています。

札幌の中西さん（自転車でソウル～釜山～福岡、小倉、松山、今治、尾道、小豆島、高松、徳島、高知。足摺岬で転倒し、ねん挫して旅を中断）と偶然再会したのが何かの縁と思い完歩したのをメールで送ったら、返信で

「凄い距離を歩かれているんですね。初めて見たときに、足を引きずっている様子や靴やリュックの感じから、そのような猛者には見えませんでした。・・・・旅を文章にする際に気をつけていることは何でしょうか？私も旅を文章にしているのですが、中々大変でして、何かアドバイスがあればお聞かせください。・・・・」

という長いメール、文章はこちらから教えて欲しいと思いました。なにしろ私にとって、初めての投稿依頼なもので、彼や他人の方からの写真に助けられたので、次号からは記録写真は皆無だし、記憶も薄れて、手帳には行程のみの簡単な記録なので大丈夫なのか不安であります。とにかく試行錯誤で乗り切るしかありません。

次に4日間共にした東京の安井さんからは次のようなメールでした。

「・・・・お便りありがとうございます。そして日本一周達成改めておめでとうございます㊗ 今回の四国お遍路で一番楽しかったのは、鮫川さんと出会い、お話ししたことです。いやぁ一楽しかったなぁ。次は沖縄ですね^^」

さらに伊方民宿の道元さんからのメール

「・・・・ちょうど昨日鮫川さん、家で正月過ごせたかなあーと思っていました。いや一素晴らしいです。出会えた縁に感謝しています。・・・・益々お元気で楽しんで頑張ってください。応援しています。・・・・」

また元職場の先輩同僚で水戸市の金子さんからの年賀状

「先生のの行動力、意志力に驚嘆です。意気軒昂たる若者の様子お喜び申し上げます。・・年の始めに当たり先生のご壮健、心よりお祈りいたします。」

日本ヒマラヤ協会会員で全国山の日協議会に紹介していただいた郡山在住の保坂氏からの年賀状に「脱帽と尊敬を致しております。」等々

23年間歩いて、四国の旅ほど旅人と接したのは初めてです。今まで私は写真も撮らず歩くだけでした。今回は左足小指を痛めたため思いもよらずゆっくり歩いた私にとって、実に新鮮で多くの出逢いがありました。

記：鮫川太一